

平成28年度 長崎歯科衛生士専門学校自己評価（歯科衛生士学科）

長崎歯科衛生士専門学校教職員による無記名アンケート方式

※アンケートは各質問項目に対して
 4：十分に達成している
 3：おおむね達成している
 2：どちらかというと達成されていない
 1：ほとんど達成されていない
 の4段階で評価したものを集計し、その平均値を評価基準として採用した。

		成果と課題、評価
学校教育基本方針 (教育理念)	医療人としての自覚と倫理観を持ち、口腔保健に関する高度な専門能力を有し、健康教育とヘルスプロモーションの担い手となり、 また、豊かな人間性を持った「人として、人に優しい歯科衛生士」の育成を目指す	教育理念、教育目標の確認や共通理解は図られている。今後も目標にあるような歯科衛生士の育成を目指したい。
学校教育目標	1. 医療人としての使命感をもった歯科衛生士の育成 2. 高度化・多様化する歯科医療に対応し得る歯科衛生士の育成 3. 地域保健・医療・福祉の担い手としての歯科衛生士の育成 4. 生涯の職業としてのプロ意識をもった歯科衛生士の育成	
重点努力目標	1. 健康管理や時間厳守といった自己管理能力を身につける 2. カリキュラムを充実させ、即戦力となる人材を育成する 3. 歯科衛生士国家試験合格率100%および就職率100%を達成するとともに優秀な人材確保に努める	国家試験合格率、就職率ともに100%達成した。自己管理能力を身につけた歯科衛生士の輩出をさらなる努力目標とする

評価項目	目標	具体的方策	具体的取組	評価		成果と課題	学校関係者評価 委員コメント
				前期	年度末		
1. 教育課程・学習指導							
科目編成における内容や工夫	(1) 「基礎力」を育成するカリキュラムを編成する	専門基礎分野と専門分野が有機的につながるようにする	時間割の作成時に各科目担当者の意見を反映し、また、科目間の連携を図るために連絡を密に行う	3.6	3.8	十分達成している。今後も社会変化に対応したカリキュラム編成、また豊かな人間性を育むカリキュラム編成の工夫をしていきたい。	講師に対する研修はあるのか。必要な場合、内容によっては紹介できるかもしれない。
	臨床現場に即したカリキュラムを編成する	臨床実習、臨地実習を多く組み入れる	実習内容ごとに到達目標を設定する	3.7	3.9		
	豊かな人間性を育むカリキュラムを編成する	選択必修分野の充実を図る	一般教養が身につくような科目を取り入れる	3.5	3.8		
教科指導における内容や工夫	(2) シラバス(授業計画)を作成し、学生に計画的な学習をさせる	シラバス(授業計画)を作成し、学生に配付することにより、計画的な学習指導につなげる	シラバス(授業計画)を作成し学生に配付することにより、計画的な学習指導につなげる	3.8	3.8	十分達成している。引き続きシラバスを活用した計画的な学習指導を行いたい。	評点変更・特記事項等なし

評価項目	目標	具体的方策	具体的取組	評価		成果と課題	学校関係者評価委員コメント
				前期	年度末		
2. 生活指導							
(1) 生活指導	自己管理能力を身につける	健康管理を徹底する	健康診断を実施し、再検査が必要な場合は、指導を行う また、B型肝炎やインフルエンザワクチン等の接種の徹底を図る	3.8	3.9	健康管理、時間厳守等に関しては十分達成している。 社会人としてのマナー教育については、内容を充実し、今後更に指導を強化していきたい。	挨拶に関しては、家庭でのしつけの問題もあるが、社会人として最低限のマナー等健康管理と合わせて引き続き指導していただきたい
		時間を厳守する	出席日数に目を配る	3.8	3.8		
	挨拶や礼儀作法の指導を行う	学校生活の中で礼儀の指導を徹底する	挨拶の慣行をはかる	3.1	3.0		
			社会人として必要なマナーをカリキュラムの中に取り入れる	3.4	3.3		
(2) 相談	問題行動の予防に努める	悩みを抱える学生の早期発見に努める	担任を中心に適切な教育相談を行い、問題行動を未然に防止する	3.5	3.7	十分達成している。 必要に応じスクールカウンセラーとのカウンセリングも実施している。今後も連携し、問題行動の予防に努めたい。	評点変更・特記事項等なし
			必要に応じて保護者と連絡をとる	3.5	3.8		
			教務委員会で学生の対応を協議する	3.7	3.8		
3. 進路							
(1) 職場開拓	歯科医院以外への就職の門戸を拡大する	歯科衛生士の行う口腔ケアの重要性を働きかけ、医療福祉分野への就職の門戸を拡大する	老人保健施設や障害者施設などに積極的に実習に出し、歯科衛生士の役割の重要性を広める	3.4	3.7	十分達成している。 今後も歯科衛生士の重要性を広めるよう努力していきたい。	評点変更・特記事項等なし
(2) 資格取得	歯科衛生士国家試験合格率100%を目指す	成績不振者を早期に見出し、対応する	適宜補習を行う	3.8	3.9	十分達成した。 これからも学生の能力に応じた補習を継続し、合格率100%を目指したい。	十分達成している。 今年も国家試験全員合格を目指して頑張っていたきたい。
(3) 就職率	就職率100%を確保する	学生の希望にそった就職先を確保する	ハローワーク、長崎県歯科医師会との連携	3.6	3.8	就職希望者の就職率100%を達成した。	就職率100%PRポイントになる。挨拶などで就職先から苦情を受けたことはあるか。その場合の対処法を考えていた方がいいと思う。
			10月に学生の就職希望を調査する	3.8	3.9		
			個人面談を実施し、学生の希望及び適性を考慮しながら求人情報の提供、助言を行う	3.4	3.8		
4. 社会人基礎力							
(1) 社会への適応能力を育成する	課題の解決に向けて目標を設定し、粘り強く取り組む能力を育成する	課題の解決に向けて目標を設定し、粘り強く取り組む能力を育成する	各種行事や実習開始前に目標を設定し、提出させる	3.3	3.6	おおむね達成している。 共同作業に必要な資質を育成するための指導を徹底し、コミュニケーション能力を育てたい。	評点変更・特記事項等なし
			共同作業に必要な資質を育成する	コミュニケーション能力を育成する	3.2		
	規律を身につける	校則違反者には厳粛に対処する	3.2	3.1			

評価項目	目標	具体的方策	具体的取組	評価		成果と課題	学校関係者評価委員コメント
				前期	年度末		
5. 広報							
(1) 学生募集	歯科衛生士の認知度を高め、優秀な学生を確保する	高等学校にPRを行う	高等学校訪問および学校説明会を行う	3.7	4.0	応募者が減少している。今後も学生を確保するためPR活動を強化していく必要がある。	定員とほぼ同数の応募があればよいのではないかと。定員を割らなければよいと思う。高校の進路担当者には歯科衛生士という職業は認知されているようなので、生徒や保護者へのPRを考えたらい。女子生徒なので保護者の理解が大切。保護者の目につきやすいように歯科医院にも募集広告をおいてはどうか。
		ホームページや広告などで認知度を高める	ホームページの充実	3.9	3.8		
			進学情報誌などへの広告の掲載	3.5	3.8		
6. 組織・運営							
(1) 学校経営方針	経営方針を明確化し、その実践を行う	中長期のビジョンを明らかにし、全教職員が情報を共有する	中長期の学校経営ビジョンを全教職員が認識する	3.4	3.4	各教職員は学校教育目標を意識し、教育活動を行っておりおおむね達成できている。	評点変更・特記事項等なし
(2) 学校評価	学校自己評価を実施し、その結果を公表する	自己評価結果をホームページで公表する	自己評価結果をホームページで公表する	3.7	3.9	おおむね達成している。今後も評価内容を検討し充実させていきたい。	外部委員が学生を実際に見て、自己評価にコメントをつけると総合評価となり、よいのではないかと。
(3) 授業評価	教員の指導力を高める	専任教員の指導力向上	研修会に積極的に参加させる	3.4	3.8	おおむね達成できている。さらに、教員の研修の機会を確保することが必要である。	評点変更・特記事項等なし
		外来講師との連携	講師会を開催し、各科目担当者との連携を図るとともに教育改善の為に検討を行う	3.6	3.8		
7. 施設・設備							
(1) 施設・設備の管理	安全管理	定期的な設備の点検、整備	電気保安協会の点検を受ける	3.7	4.0	おおむね達成できている。避難訓練の実施も定着してきた。学生の安全管理には今後も十分留意していきたい。	評点変更・特記事項等なし
		常に安全を優先して教育活動を行う	避難訓練の実施	3.3	3.5		
		省エネ運動を推進する	電気器具のスイッチの切り替えをこまめにする	3.1	3.1		
	施設の充実、更新	既存施設を定期的に点検する	机・椅子・実習機器等の備品を点検し不良品は取替える	3.5	3.8		
(2) 情報の管理	パソコン等を使った校務処理を適切に行う	パソコン上の学生情報等の管理徹底をはかる	学生の個人情報の取扱いには細心の注意を払う	3.7	3.9	ネットワーク環境を整備し、情報の管理は適切に行われている。今後も学生の個人情報の取り扱いには十分注意を払っていきたい。	評点変更・特記事項等なし
			自宅のパソコンで業務を行わない	3.8	3.9		